

令和3年度 活動の様子

校内環境

校舎内には、子どもの作品や児童指導のための掲示物があります。

廊下を行き交う子どもたちが、ふと立ち止まって友達の作品に目を向けています。



体力づくり

日常の体育の学習以外にも、ペア学年での体力アップや新体力テストが実施されています。

コロナ禍での子どもの体力低下が心配されていますが、六つ川西小学校の子どもたちは、今日も元気いっぱい体力作りに励んでいます。



GIGAスクール

一人1台のタブレット端末を使用した学習がスタートしています。子どもたちは、タブレット使用の約束を確認しながら、便利な文房具であるiPadを使いこなしています。



6年生 総合的な学習の時間

6年生が「まちの魅力を伝えるPR動画」をつくるため、各自iPadを持参して「まち」へ出かけました。普段通らない道に残された自然を実感したり、かわいいリスに出会ったりと、多くの学びを得る貴重な校外学習となりました。



職員水上安全研修

6月25日に、事故防止や救助法についての職員研修を行いました。水の事故にあった際の救助や手当の方法、心肺蘇生法とAEDの使い方、役割分担などを確認し、安全な水泳学習を誓いました。6月28日より、いよいよプールの授業がスタートします。



放送朝会

本年度も朝会は、感染症防止対策を兼ねてテレビ画面を通した全校放送で行われています。

6月28日にプール開きが行われ、安全なプール授業の「やくそく」が確認されました。また、登下校の安全な歩き方の話もあり、子どもたちは真剣な表情で朝会に参加していました。



学校図書館司書

図書館司書の先生がオリジナルに描いたキャラクターカードや、本のカバーで制作したバックのプレゼントなど、工夫を凝らし、今まで本を借りに来なかった子どもたちにも本を手にとってもらえるよう、様々な取組をしています。毎日たくさん子どもたちが学校図書館を訪れるようになり、活気づいています。



理科支援員

理科授業の充実を目指し、理科支援の先生が授業づくりの補助をしてくれています。理科の実験や観察の準備が整った理科室で、感染症防止対策も取りながら、今日も子どもたちは、目を輝かせて学習に取り組んでいます。



ICT支援員

ICTを活用した授業支援をしていただくため、ICT支援員の先生が授業づくりの補助をしてくれています。GIGAスクールによる、一人1台のタブレット端末を活用した授業も軌道に乗り、子どもたちはiPadを文房具のように使いこなしています。



異学年交流

1・6年生、2・4年生、3・5年生がそれぞれペアになり、異学年集会や体力アップの活動を行っています。異年齢交流を通して、大きな子どもは、小さな子どもをいたわり、守る。小さな子どもは大きな子どもに感謝し、憧れる。子どもたちは、そのような社会性を伴った関わり方を少しずつ学んでいきます。



プール 水の安全学習

雨天気で、延期されていたプール学習が実施されました。感染防止のため、人数を制限し、会話をせずに行ったため、夏のプールに付き物の「子どもたちの歓声」はありませんでしたが、久しぶりのプール学習にみんなの笑顔が広がりました。あおむけで浮かぶ「背浮き」や、「だるま浮き」など、「安全確保につながる運動」を通して子どもたちは、水中でのバランス感覚を養いました。



分散登校の様子 給食

換気を含めた感染症防止対策の徹底を図りながら、夏休み明けの給食が再開されました。子どもたちへの各ご家庭でのご指導もあり、みんなしっかりと「黙食」の約束を守っています。緊急受け入れのため、別室で過ごす子どもたちもそれぞれの教室で過ごす子どもたちも、静かなオルゴールが流れる給食タイムは、心もおなかもホッと落ち着く楽しい時間です。



分散登校の様子 掃除

給食の時間同様、掃除の時間も静かなオルゴールが流れています。ゆったりとした気持ちで、もちろんマスクを着けていますが、友だちとの間隔をとりながらの「黙掃」（だまってそうじ）タイムです。次の日に登校する別グループの人たちが気持ちよく過ごせるように、「より美しく」を目指して丁寧に掃除をします。終了後の手洗いも時間をかけてしっかりと行うことができます。



環境整備 消毒作業

徹底した換気と日々の消毒作業など、夏休み明けからは、これまでの感染症防止対策を一層強化して取り組んでいます。朝や放課後の教室の除菌作業は担任教師、階段の手すりや流し場などは職員室アシスタント、トイレは技術員がそれぞれ担当しています。校庭遊びのフラフープや図書室の本、掃除で使用するほうきやその他の共有物を消毒しながら、子どもたちが安心して日々の学校生活を過ごす準備を全職員で整えています。



環境整備 タブレット

一人一台のタブレット端末の持ち帰りが始まりました。学校では、登校してきた子どもたちの実態に応じながら操作方法を確認し、授業や休み時間にも大いに活用しています。子どもたちは、教師の指示に従って写真や動画を撮影し、ロイロノートで提出したり、自宅学習中の友だちや他教室の友だちとオンラインでつながったりと「学習道具」としてのiPadを文房具のように使いこなしはじめました。一方、ご家庭での使用状況には、まだまだ課題がありそうです。「タブレット使用の約束」をそれぞれで再確認していきましょう。



分散登校の様子 校庭

しばらく涼しい日が続きましたが、久しぶりの夏天気。夏の間長く伸びた草木の刈込作業も進みます。分散登校中の休み時間は、決められた日に校庭を区切り、クラスごとにソーシャルディスタンスを保って遊びます。今は、ボールや共用品が使えないので「だるまさんがころんだ」や「フラフープ」が人気です。ある子が「校庭でピンクのバッタを見つけたよ!」と見せてくれました。何だか幸せな気持ちになりました。



総合防災訓練

9月14日（火）と15日（水）の2回に分けて総合防災訓練を行いました。

例年は、在校中の大地震の発災を想定して9月1日に全校規模で実施しているものですが、本年度は分散登校期間中であることと感染症防止対策を兼ねて、各教室での実施です。

震災はいつやってくるかわかりません。避難の仕方を学んだ子どもたちは、教室で学年に応じた防災に関するビデオを真剣な表情で視聴しました。



分散登校の様子 授業

分散登校が始まり約2週間が過ぎました。6年生の教室には、担任・理科支援員と共に理科室で「月の満ち欠け」の実験を行い、結果をタブレットでまとめる子どもの姿がありました。5年生の教室は、AET（英語指導助手）が英語で話し、担任が板書をしながら共に進める英語の授業です。それぞれの教室で担任が一人ひとりの子どもに寄り添い、工夫してその実態に応じた「少人数の学び」を展開しています。



10月4日以降の様子 授業

緊急事態宣言が解除され、徐々に日常の学校生活が戻ってきました。ある程度の距離、会話時のマスク着用、常時換気の徹底、対面教室でのアクリル板越しの活動など、感染症防止対策を図りながらの活動ではありますが、歌が歌えるようになったり図工の造形活動ができるようになったりと活動の幅が広がりました。一人1台のタブレット活用も自然な日常の授業風景となっています。



校庭での全校朝会

10月18日（月）

さわやかな朝の陽ざしの中、今年度初となる「校庭での全校朝会」を実施しました。昨年度は「各教室での放送朝会」だったため、1年生はもちろん、2年生も外で整列して小学校の朝会に参加するのは、初めてです。5・6年生が手本となる立派な態度を示し、全校児童の列が揃いました。凛とした空気が流れる朝会に、素晴らしい姿勢で参加している子どもたちの様子からは、一人ひとりの成長が感じられ、胸が熱くなりました。



コーチング授業 6年生

Seeds growth coachingの橋口さん（通称：ハッシー）をお招きしてコーチングスキルの学習が行われました。『聞く』『聴く』をテーマに6年生の子どもたちがゲーム形式のワークショップを通して楽しく「コミュニケーションと人間関係」についての学びを深め合うことができました。実施後の教室では、橋口さんを囲む子どもたちの笑顔であふれていました。



お出かけ防災教室 3年生

社会科の時間に消防の仕事や役割などを消防隊員の方から伺う「お出かけ防災教室」が南消防署の計らいにより3年生の教室と個別支援学級、消防署をオンラインで繋いで実施されました。消防隊員の方から、火や煙の恐さ、地震や風水害から身を守る方法を教えていただいたり質問にも丁寧に答えていただいたりして、子どもたちは大満足でした。



校内授業研究会

10月29日に「自ら関わり、共に育つ 六つ西の子～児童の対話的な学びを引き出す指導の手立て～」をテーマとした今年度2回目となる校内授業研究会が実施されました。「今日は授業でこんなことが分かったよ」「〇〇さんのこんな考えがおもしろかったよ」子どもたちが対話し、交流し合い、成長していくことができるような授業をめざして、私たち教職員は腕に磨きをかけ続けていきます。
(学校だより11月 372号より引用)



社会科見学 4年生

資源循環型ごみ処理施設 旭工場に行きました。ごみが焼却され熱や電気などのエネルギーとして活用される過程を学習しました。模型で工場のつくりをつかんだり、実際のクレーンが動く様子を見たりして、自分達が出すごみがどのように処理されるのかを学ぶことができました。帰りには吉田新田のルートを回り、その広さを実感しました。夏休み以降の社会科の内容が詰まった社会科見学になりました。



遠足 1・2年生

11月12日に秋晴れの中、1年生も2年生も小学校生活初めてとなる遠足に行ってきました。児童遊園地まで往復徒歩での遠足です。しおりのタイトルは、1年生「ふわキラ クローバー えんそく」2年生「やったあ！ウルトラ きらきら えんそく 2年生！」です。それぞれの学年で決めたルールや約束を守り、遠足のめあてに沿った楽しい一日を過ごすことができました。長い距離を歩き、友だちと協力する大切さを改めて実感した子どもたちは、一回りも二回りも大きく成長したように感じられます。



防犯教室 5・6年生

11月22日に南区青少年指導員連絡会の皆様による防犯教室が、高学年の子どもたちを対象として「考えよう やってよいこと 悪いこと」をテーマに実施されました。指導員の方からは、子どもたちが様々な場面に応じた危機管理能力を身に付けられるよう、わかりやすい話があり、みんなうなずきながら熱心に耳を傾けていました。



南区一斉授業研究会

11月24日に南区の教員を対象とした一斉授業研究会があり、本校では外国語科（YICA）の研究授業が、3年1組と個別支援学級で行われました。多くの先生方の前でも子どもたちは、いつものように伸び伸びと英語でのコミュニケーションを楽しむことができ、事後の研究会では、講師の先生からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



御殿場宿泊体験学習 5年生

12月7日～8日の1泊2日の日程で、5年生が静岡県御殿場市にあるYMCA東山荘に宿泊体験学習へ行ってきました。心配された雨に降られることもなく「冬のGO殿場～安全・協力・本気でオツケー！」のスローガンを掲げた子どもたちは、1日目の富士散歩で自然の雄大さと素晴らしさを実感し、夜のキャンプファイヤーで火の温かさを感じ、2日目のチームビルディングで協力することの大切さを学びました。2日間のプログラムを体験し、よりたくましく心を成長させた子どもたちの満足気な表情を見て「行くことができてよかった！」と心から思いました。



六つ西 スマイル エンジョイ フェスティバル

運動会が中止となり「残念な気持ちを何とか盛り上げたい」と、6年生の実行委員が中心となり、先生方も新たなプロジェクトメンバーを立ち上げ、12月21日に「六つ西 スマイル エンジョイ フェスティバル」が実施されました。全校のみんなに笑顔で楽しんでもらいたいとの願いを込めたフェスティバルの成功で見せてくれた子どもたちの頑張り笑顔に元気と勇気をもらいました。



新しい年を迎えて

冬休みが明けた第1日目の前日は、関東地方には珍しい大雪でした。登校時の安全を確保できるよう、職員総出の「雪かき」作業です。

1月7日の朝、雪化粧に輝く校庭を見た子どもたちは、「わーすごい！真っ白だ！」と、歓声があげていました。少し寒いけど、みんながキラキラ笑顔になれる令和4年のスタートです。



【土曜授業】

1月15日（土曜日）に予定されていた授業参観は、残念ながら中止となりましたが、感染症拡大防止対策をとりながらの通常授業が予定通りの時間割で実施されました。廊下を飾る友だちの書き初め作品や図工作品を眺めて「上手だね！」と語る子どもの姿、授業に真剣な態度で取り組む子どもたちの姿が見られました。家庭で過ごす子どもたちは、学校からロイロノートで送られた課題に取り組みました。日差しが温かく降り注ぎ、落ち着いた土曜日の午前中です。



校内球技大会 5年生

1月21日に予定されていた他校との南区球技大会は、残念ながら中止となりましたが、「かがやき」・「ひびき合い」のそれぞれの名前を付けたキャッチバレーコート（体育館）とティーベースのスタジアム（校庭）に分かれ、5年生が校内での球技大会を行いました。どのチームもこれまでの練習の成果を発揮し、チームワークよく仲間と共に試合を楽しむことができました。マスクを着用し、応援は「拍手で！」の制限付きですが、互いを励まし合う子どもたちの笑顔が、きらきらと輝く素敵な校内での球技大会となりました。



やきゅうみらいアクション 2年生

2月1日に本校体育館で野球の楽しさを感じてもらうことを目的とした横浜Denaベイスターズ主催の野球教室「やきゅうみらいアクション」が、感染対策を徹底して2年生のクラスごとに行われました。参加する子どもたちの中には、初めて野球のボールを触る子やバットを握る子もいましたが、ボールの投げ方や打ち方をベイスターズの元選手である先生にていねいに教えてもらうと、みるみるうちに遠くへボールを運べるようになりました。行事が削られていく中ですが、子どもたちのよい思い出をつくることができました。



ウメの開花

節分といえば、2021年に限っては2月2日（124年ぶり）でしたが、季節も巡り2022年の節分は2月3日（木）、その翌日は「立春」です。春の始まりである「立春」にあわせるかのように六つ川西小学校のマラソンコースに咲くウメの花が、硬いつぼみを開き始めました。白梅（ハクバイ）や（紅梅）コウバイの甘い香りに誘われてやってきたシジュウカラのさえずりも聞こえます。春の訪れです。



修学旅行 6年生

2月24日（木）に6年生が箱根に修学旅行へ行ってきました。「Enjoy! Study! Last memory! 箱根へ Let's go!」のスローガンには、「歴史と文化を学びながら、友だちとの残り少ない日々を全力で楽しみたい!」という子どもたちの思いが詰まっています。旅行は、1泊から感染対策を徹底した日帰り旅行に変更されましたが、実行委員を中心に自分たちで決めた約束をしっかりと守り、みんなで楽しい一日をつくりあげることができました。下校後の子どもたちからは、「とても楽しかった」「清々しい気持ち」といった感想を聞くことができ、行くことができた喜びを実感しました。



卒業に向けた飾りつけ

1～5年生と個別級の子どもたちが、6年生の卒業を祝うための壁飾りを作成しました。「おめでとう」という言葉とともに、各学年が色とりどりのデザインで門出を祝い、学校全体が晴れ晴れしく、華やかな雰囲気になっています。これを見た6年生が、小学校生活を思い出しながら、気持ちよく卒業式当日を迎えられるとよいですね。



卒業に向けて 6年生

3月4日（金）に6年生の「感謝の会」がありました。スポーツやダンス、劇や手品、学習発表など、子どもたちの素晴らしいパフォーマンスで会場が拍手に包まれました。

3月7日（月）には、6年生から5年生に向けての委員会・クラブの引継ぎ式がオンラインで実施されるなど、残り少ない日々を卒業に向けて一歩ずつ歩む6年生です。



記念植樹 6年生

3月7日（月）に、学校正門前で6年生によるヨコハマヒザクラの植樹式が、南区さくら貯金協議会のご協力のもと行われました。暑い夏を越し、1年を越せばちゃんと根付くだらうということで、大切に育てていきたいと思います。子どもたちは「20年後に32歳になって見に来るのが楽しみ！」など、未来への思いを語り合っていました。



特音大好き会 特別音楽クラブ

予定されていた定期演奏会は中止となりましたが、代替イベントとして「特音大好き会」が3月12日（土）に体育館で入場制限を設けて実施されました。高学年児童が企画し、吹奏楽による合奏のないイベントとなりましたが、6年生の校歌紹介や5年生への引継ぎ式、サプライズ企画もとびだして、6年生や家族、お世話になった先生方への感謝の気持ちをみんなで伝え合うことができました。

